



じもと

HOLDINGS

じもとホールディングス ミニディスクロージャー誌



きらやか銀行



仙台銀行

2016
9月期



地域の成長を 本業支援で 支える



きらやか銀行



仙台銀行

PROFILE

じもとホールディングス

設立年月日 平成24年10月1日
 本社所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
 電話番号 022-722-0011(代表)

資本金 170億円
 上場取引所 東京証券取引所
 ホームページ <http://www.jimoto-hd.co.jp/>

きらやか銀行

本店所在地 山形市旅籠町三丁目2番3号
 電話番号 023-631-0001(代表)
 設立年月日 平成19年5月7日
 資本金 227億円
 預金・譲渡性預金 13,162億円
 貸出金 9,991億円
 従業員数 1,004人
 店舗数 118カ店(県内99カ店、県外18カ店)(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗
 統合による実質店舗数は73カ店(うち出張所2カ店)
 (県内56カ店、県外16カ店、その他1カ店)。

ホームページ <http://www.kirayaka.co.jp/>

仙台銀行

本店所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
 電話番号 022-225-8241(代表)
 設立年月日 昭和26年5月25日
 資本金 224億85百万円
 預金・譲渡性預金 10,418億円
 貸出金 6,564億円
 従業員数 704人
 店舗数 73カ店(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式
 での店舗統合による実質店舗数は62カ店
 (うち出張所4カ店)。

ホームページ <http://www.sendaibank.co.jp/>

(平成28年9月30日現在)

Top Message



ごあいさつ

平素より格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

平成27年4月からスタートした、じもとホールディングス並びに両子銀行の中期経営計画は、本年度が計画の2年目となります。

じもとグループの中期経営計画は、「本気の本業支援」と「本気の統合効果発揮」の2本柱です。じもとグループの特徴を最大限に発揮し、更に進化発展させるために、専門分野への取り組み態勢や人材育成、地方創生への取り組みを強化するとともに、業務の統一化・集約化を図ることで、経営の効率化・合理化に取り組み、更なる統合効果の発揮を目指しております。

じもとグループは、中期経営計画の最終年度に向け、この2本柱を中心に更なる本業支援の進化発展を目指すとともに、本業支援を中心とした一連の金融仲介機能の更なる発揮を通して、地域経済や地方創生に最も貢献する金融グループを目指してまいります。

本誌では、平成28年9月期のグループ業績とともに、じもとグループが取り組んだ「本業支援」の事例もご紹介しておりますので、是非ご覧ください。

皆様方におかれましては、今後ともじもとグループに更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月
株式会社じもとホールディングス

取締役会長 **鈴木 隆** 取締役社長 **栗野 学**

中期経営計画の実施状況

平成28年度計画

中期経営計画

平成27年度～29年度

「本業支援」の進化・発展

～本気の本業支援～

経営の効率化・合理化

～本気の統合効果発揮～

二つの柱

じもとホールディングスの特徴を
更に発揮します!

- 本業支援における、専門性の高い分野への取組強化(担当部態勢、外部機関連携等)
- 本業支援のレベルアップのための人材育成
- 地方創生に関する取組強化

業務の共同化・集約化を目指します!

サブシステムの具体的な統一化を進めます!

- サブシステム・業務運営等の統一化推進
- 本部管理部門の統合
- ホールディングスへの管理業務の集約化(持株会社の規制緩和を踏まえた対応)

実施状況

本業支援の態勢強化

- じもとホールディングス本業支援戦略部行員の増員(3名)
- 両行事業コーディネーターによる両行のお客さまへのペア訪問実施

外部機関連携

- 第二地銀協会加盟行主催の地方創生「食の魅力発見」商談会への参加

地方公共団体との地方創生連携強化

- 地方創生を意識した両行組織会の交流(きらやか銀行中央営業部が富谷町長の講話を聴講、他)
- 両行頭取と仙台市長、山形市長の4名による対談を実施

人材育成

- 山形市と仙台市で保険会社との連携によるセミナー開催(ハラスメント・就業規則)

新事務センター設立プロジェクトの発足

- 本部事務集中部門の統一に向け準備開始

市場金融部門の業務場所統一への準備

- 来年度の統一を予定(経理部、リスク統括部に続き3部門目)

両行が保有するサブシステムの統一

- 総数81のうち、24の統一が終了
- スケジュール化し今後も統一化推進

業務フローの統一化推進

- 規程統一による両行業務フロー見直しにより、業務の効率化を図り経費削減効果を創出

お客さまの未来を創造(想像)する本業支援

庄内町の有限会社菅原石材様は墓石販売業として、代表取締役である菅原社長様が創業し、以来地域に根差した営業を展開されてきました。墓石販売業界は、仏具店や葬儀業者等の新規参入、人口減少、需要減少等により競争が激化しており、現状を打開したいという想いをお聴きし、後継者である菅原専務様が構想していた酒田市への新規出店の実現に向けたお手伝いをさせて頂くこととなりました。

事業計画を作成していく中で、疑問に思ったことは全てお聴きし、同業他社との差別化の必要性を共有することが出来ました。そこで販売戦略について専門家(よろず支援拠点)の力が必要であると考え、本業支援部と連携し、差別化の為の施策を検討しました。そして、それをベースとした新しい営業戦略確立の為何度も話し合いを行いました。

平成28年6月に新店舗をオープンし、順調に営業されております。当行の本業支援をご理解頂き、悩みや目標をお話頂けたことに大変嬉しく思います。今後もお客さまと経営課題を共有できるような行員になれるよう、日々学んでいきたいと思っております。



プロフィール

きらやか銀行 余目支店
櫻田 英明
渉外担当

趣味

- ・スポーツ観戦
- ・旅行



社内旅行 雷門の前で

VOICE 喜びの声



有限会社菅原石材
専務取締役 菅原 幸太 様

昭和54年から墓石販売業として、お客さまに満足して頂くことを第一に営業を行っております。代表である菅原正男が築いてきた弊社を引き継ぐ私としては現状に危機感を持っており、何とか打開していきたいと考えておりました。きらやか銀行の櫻田さんに相談したところ、事業計画書の作成方法や、営業戦略について一緒に考えて頂きました。

お陰様で無事に新店舗もオープン出来、大変感謝しております。今後も良きパートナーとして弊社を含め、中小企業の抱える悩みを共有して頂き、事業発展に向けてのサポートをお願いしたいと思っております。

本業支援でお客様の課題解決をサポート

宮城県角田市に本社を構える株式会社一條様は、昭和42年、鶏卵卸売業を中心に設立。その後、平成13年から自慢の「蔵王地養卵」と「めぶき卵」を使ったお菓子の製造販売、飲食業に本格的に進出し、現在、「森の芽ぶき たまご舎」の店舗名で多数の店舗を展開しています。

同社の一條憲一社長は、「たまご舎」のブランドの浸透とともにお菓子の需要が増加したことから、蔵王本店に併設された工場のみでの生産には限界を感じ、生産設備の拡充が必要との悩みを抱えていました。

長年に渡り当行とお取引をいただいている同社の悩みを解決することは、歴代の当行担当者の課題でもあり、大きな目標となっていました。

当行は、日頃から同社のニーズを聴取し、様々な情報提供を行っていましたが、課題解決に向けて大きく動き出したのは、村田町の支援・協力を受け、土地の取得が可能となった時でした。この「村田店舗・工場新築計画」が、同社設備面の経営課題解決を可能とするものであるとともに、道の駅や歴史みらい館、城山公園など、隣接する観光スポットとの相乗効果により、村田町の地域活性化にもつながる取り組みであることから、当行は同社計画に賛同し、本部との連携により同社の計画実現に向けた支援を開始しました。

当行では、まず、土地取得から店舗・工場の新築オープンまでの資金繰りのプロデュースに取り組みました。一條社長からは、「店舗デザイン、人員確保など様々なことを決めていかなければならないなかで、初めにメイン銀行として支援を決めていただき、非常に感謝している」とのお言葉をいただきました。また、その後も町からの助成に係るアドバイス、設備等に係るリースの斡旋、保険等に係る紹介など様々な支援をさせていただきました。

平成28年7月23日、念願の店舗兼工場「森の芽ぶき たまご舎ファームファクトリー」がオープン。広大な駐車場を完備した店舗には、美味しいお菓子を求めて多くのお客さまが来店されています。

私は、今後もお客さまの声に耳を傾け、「本気の本業支援」を通じて、地域の発展に貢献していきたいと考えています。



プロフィール

仙台銀行 角田支店
木村 慶紀 主任
渉外担当



土日は、「イクメン」だけではなく、「カジメン」にも変身中!



新店舗兼工場「森の芽ぶき たまご舎 ファームファクトリー」

VOICE 喜びの声



株式会社一條 森の芽ぶき たまご舎
代表取締役社長 一條 憲一様

弊社は創業以来、「蔵王地養卵」と「めぶき卵」という安全で美味しい卵を提供し、時代の流れと共に、今でいうところの6次産業化を先取りし、かたちを変え発展を続けております。

仙台銀行との取引は古く、旧行名の振興相互銀行時代からになります。いつも身近にある銀行として相談しやすく、今回の店舗兼工場の新築に関しても親身になって相談に乗ってもらい、支援していただきました。また、資金面に限らず、様々な情報を提供していただくなど、長年の課題解決の一助となっていただきました。

今後も、地域に根ざした店舗・商品作りに取り組みながら、ともに成長していきたいと考えております。引き続き、アドバイスやサポートをよろしく申し上げます。

“きらやかマネジメントスクール”開講

当行は、平成29年5月に10周年を迎えるにあたり、「きらやかマネジメントスクール」を開講いたしました。

本スクールは当行の取引先企業の後継者や幹部社員の皆様を対象に、山形大学の教授陣を講師に招き、1年間のカリキュラムで企業経営に係る実践的な知識や技術等を習得するものであり、今年度は41名の受講者が参加されております。



「きらやかマネジメントスクール」開講式

「きらやか社会貢献私募債」贈呈

当行は、本業支援の一環とし、5月に「じもと創生『きらやか社会貢献私募債』」の取扱を開始しました。この私募債はCSR活動や社会貢献活動を積極的に展開している企業を応援し、“じもと”の「地方創生」に貢献することを目的に取扱っています。10月には地域振興に向け相互人事交流を行うなど協力協定を締結した山形市と当行の連名で、贈呈先2社に同私募債発行記念楯の贈呈を行いました。贈呈式には佐藤孝弘山形市長にもお越し頂きました。



「きらやか社会貢献私募債」記念楯贈呈

硬式野球部 都市対抗全国大会で「特別賞」受賞・応援は「敢闘賞」受賞！

当行硬式野球部は、第87回都市対抗野球二次予選で優勝し、創部初、じもと山形でも66年ぶりの都市対抗野球全国大会出場を果たしました。7月19日に行われた初戦では延長13回の熱戦を展開し、初勝利を挙げました。山形県勢にとって全国大会での勝利は初めての事であり、山形県の歴史を次々と塗り替えました。熱戦を繰り広げた硬式野球部は「特別賞」を受賞し「応援団」は皆様からの熱い応援のおかげもあり「敢闘賞」を受賞致しました。これからも引き続き、当行野球部の応援をどうぞ宜しくお願いいたします。



きらやかレッドに染まる
東京ドーム



東京ドーム
初勝利の瞬間

「宮城の企業発見プログラム」の開催!! ～地域の復興・発展に貢献～

当行は、平成28年9月、地方創生への取組強化の一環として、宮城県内の企業ならびに大学等との連携により、県内の大学生等に対して県内企業の事業概要や業務内容等を紹介する「宮城の企業発見プログラム」を開催いたしました。

本プログラムは、地方創生を推進する観点から、県内企業11社が同時期にインターンシップを開催し、県内の大学生等へ地元企業の魅力を伝えることで、地元での就職を促す初の取り組みです。

当行では、頭取との座談会や若手職員による仕事の体験談、札勘定体験等を通して、銀行業務及び当行への理解を深めてもらいました。



頭取から熱いメッセージ

「ネット通販活用・ふるさと納税セミナー」の開催!! ～地方創生へ楽天と連携～

当行は、平成28年6月、お取引先企業の販路拡大の支援のため、楽天株式会社との連携により、インターネットショッピングモールへの出店ニーズがある企業等を対象とした「ネット通販活用セミナー」を開催いたしました。

また、同年6月、地方創生に向けた支援の一環として、楽天株式会社との共催により、地方公共団体の担当者等を対象とした「ふるさと納税セミナー」を開催いたしました。



ネット通販活用セミナー

TKC東北会との連携で中小企業の成長を支援!! ～地域社会の発展に寄与～

当行は、中堅・中小企業の持続的成長に貢献し、地域社会の発展に寄与するため、平成28年5月、TKC東北会と「中堅・中小企業の持続的成長支援に関する覚書」の締結をいたしました。

本締結により、TKC東北会との連携を強化することで、お取引先企業の課題解決や経営力強化に向けた支援に、更に取り組みまいります。

当行は、今後も様々な連携を通じて、地域社会の発展に取り組むとともに、地方創生に積極的に貢献してまいります。



覚書の締結

株主総会のビジュアル化について

じもとホールディングスでは、株主の皆様によりわかりやすく事業内容をお伝えするため、株主総会のビジュアル化に取り組みました。会場では「じもとホールディングスの本業支援」をご紹介する映像を上映し、また議事の進行においてはパワーポイント画像を使いながらご説明いたしました。中継会場においてもスクリーンを通してご覧いただけるようになっており、今後も多くの株主様にご参加いただき、当社のことをよりご理解いただけますよう株主総会を作り上げてまいります。

※株主総会の会場は、毎年仙台市と山形市で交互に開催し、開催地以外のもう一方を中継会場としています。

地方創生“地域をつなぐ”取り組みについて

じもとグループのきらやか銀行と仙台銀行は、地方創生の一環として“地域をつなぐ”取り組みを行っております。今後も当社の経営戦略の柱とする「本業支援」を通して地方創生に積極的に取り組んでまいります。

(1) 両行のお客さま組織会への交流支援

- ①平成28年7月、仙台銀行大富支店（富谷町）の紹介により、きらやか銀行中央営業部（山形市）お客さま組織会が富谷町へ訪問し、富谷町長による「地方創生」をテーマとした講話を聴講。
- ②平成28年8月、きらやか銀行新庄支店（新庄市）と仙台銀行古川支店（大崎市）のお客さま組織会が交流会を実施。



きらやか銀行新庄支店・仙台銀行古川支店のお客さま交流会

(2) 地方自治体との連携強化

- ①平成28年7月、両行頭取と仙台市長、山形市長の4名による対談の実施。（地域情報誌「りらく」に掲載）
- ②平成28年9月、仙台銀行本店ロビーにおける山形県山辺町産業展の開催。



両行頭取と仙台市長・山形市長の対談



山辺町産業展

じもとホールディングス連結業績

(単位:百万円、%)

	27年9月期	28年9月期	前年同期比	増減率
	連結経常収益	21,889	22,449	559
経常利益	3,258	2,799	△458	△14.0
親会社株主に 帰属する 中間純利益	3,293	2,949	△343	△10.4

平成28年9月期の連結業績は、連結経常収益は224億49百万円、経常利益は27億99百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は29億49百万円となりました。

きらやか銀行・仙台銀行(単体)の2行合算

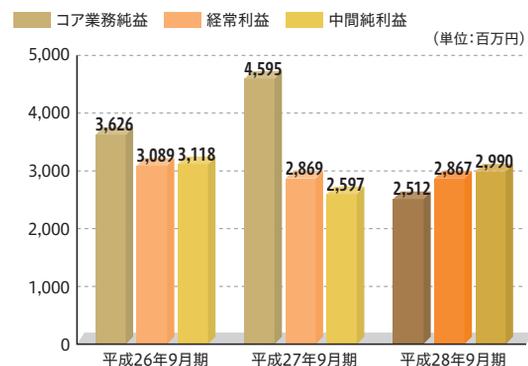
(単位:百万円、%)

	2行合算			
	27年9月期	28年9月期	前年同期比	増減率
経常収益	21,185	19,471	△1,713	△8.0
業務粗利益	17,205	15,831	△1,373	△7.9
経費 (除く臨時処理分)	12,902	13,088	186	1.4
コア業務純益	4,595	2,512	△2,083	△45.3
業務純益	4,950	2,742	△2,207	△44.5
経常利益	2,869	2,867	△1	0.0
中間純利益	2,597	2,990	392	15.0
貸出金	1,646,036	1,655,610	9,573	0.5
預金等 (譲渡性預金を含む)	2,436,851	2,358,046	△78,804	△3.2
有価証券	723,022	674,116	△48,905	△6.7

2行合算の経常収益は、前年同期比17億13百万円減少の194億71百万円となりました。

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したことや物件費の増加により、前年同期比20億83百万円減少の25億12百万円となりました。

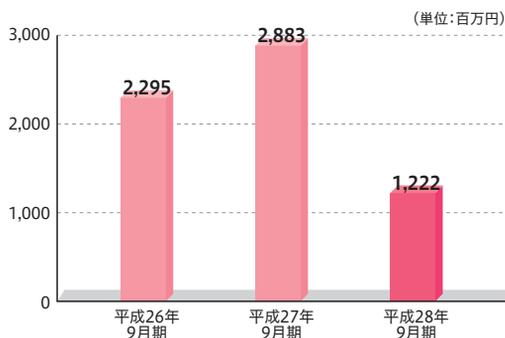
経常利益は、前年同期比1百万円減少の28億67百万円、中間純利益は前年同期比3億92百万円増加の29億90百万円となりました。



業績ハイライト(単体)

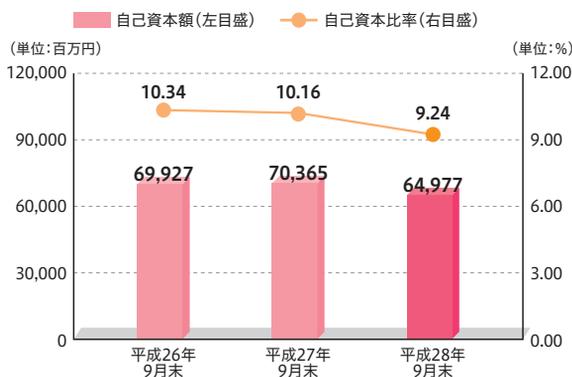
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したことなどから、前年同期比16億61百万円減少の12億22百万円となりました。



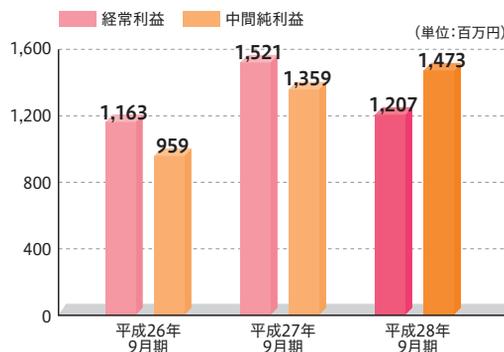
自己資本比率の状況

自己資本比率は、劣後特約付社債等61億円を平成28年3月期に期限前償還したことで自己資本額(分子)が減少したことから、平成27年9月末比0.92ポイント低下の9.24%となりました。



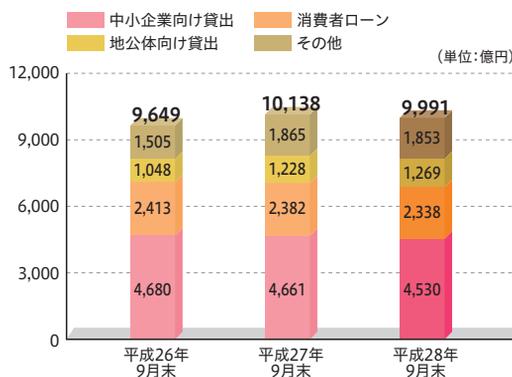
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は前年同期比3億14百万円減少の12億7百万円、中間純利益は前年同期比1億14百万円増加の14億73百万円となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、市場性ローンが償還により136億69百万円減少したことなどから、平成27年9月末比146億35百万円減少の9,991億69百万円となりました。中小企業等を含む事業性融資については、ほぼ横ばいとなっておりますが、事業性融資先数は、平成27年9月末比145先増加しております。

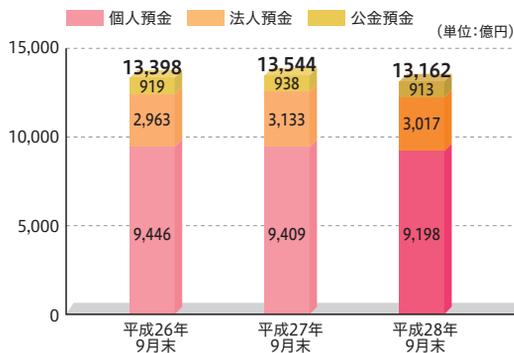


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

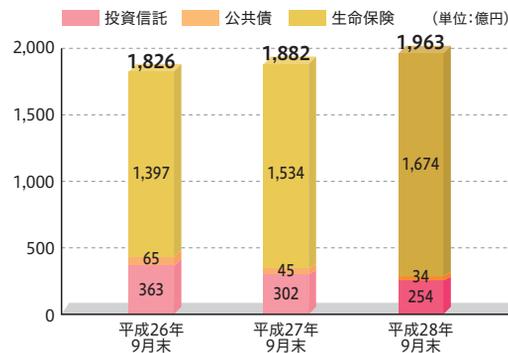
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、平成27年9月末比381億58百万円減少の1兆3,162億44百万円となりました。法人預金は、平成27年9月末比116億33百万円減少の3,017億14百万円となりましたが、平均残高は前年同期比93億11百万円増加の2,943億56百万円となりました。



預かり資産の状況

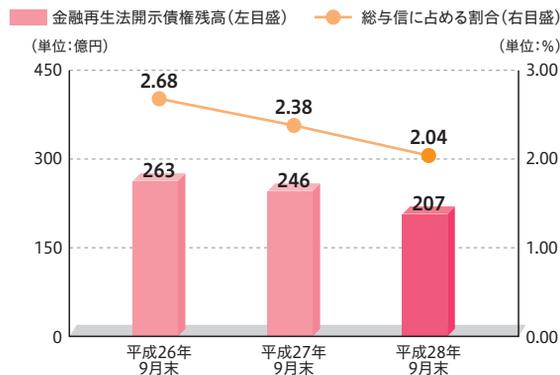
預かり資産残高は、安定志向にあるお客さまニーズの取込みなどにより生命保険残高が増加したことなどから、平成27年9月末比80億94百万円増加の1,963億72百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成27年9月末比38億40百万円減少の207億82百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成27年9月末比0.34ポイント低下の2.04%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



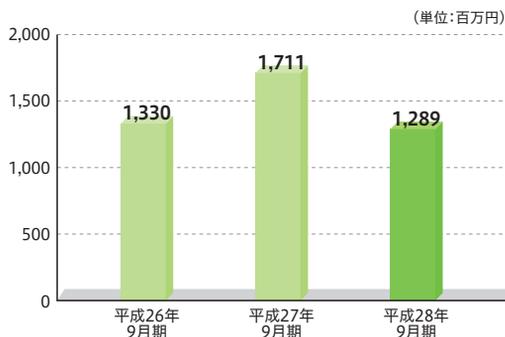
■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 中間純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト(単体)

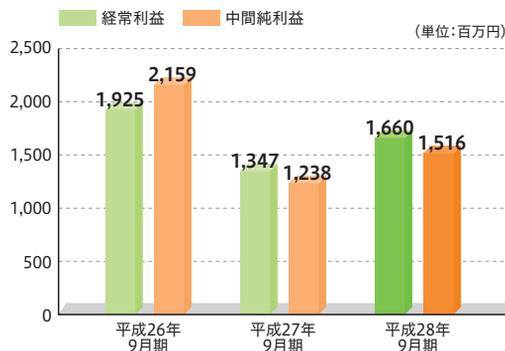
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益及び役務取引等利益の減少に加え、経費の増加などから、前年同期比4億21百万円減少の12億89百万円となりました。



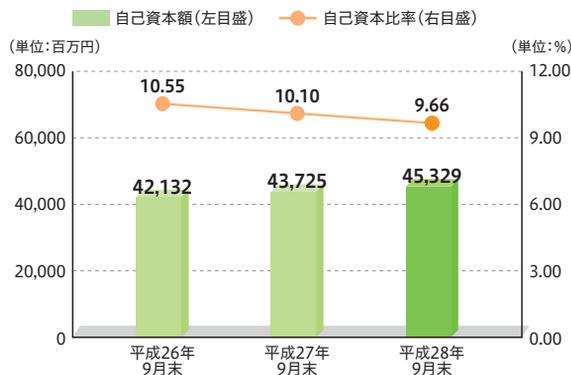
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、前年同期比3億13百万円増加の16億60百万円、中間純利益は、前年同期比2億78百万円増加の15億16百万円となりました。



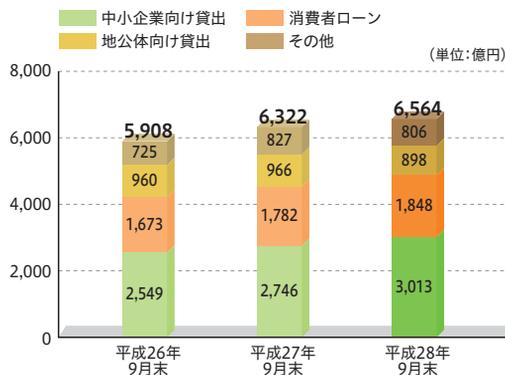
自己資本比率の状況

自己資本比率は、中間純利益を15億16百万円計上し、自己資本額(分子)が増加しましたが、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、平成27年9月末比0.44ポイント低下の9.66%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、お客さまの様々な資金需要への積極的な対応により、中小企業向け貸出や住宅ローン、個人ローンが増加したことなどから、平成27年9月末比242億9百万円増加の6,564億41百万円となりました。

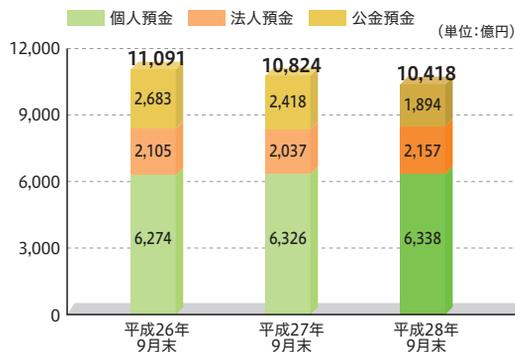


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

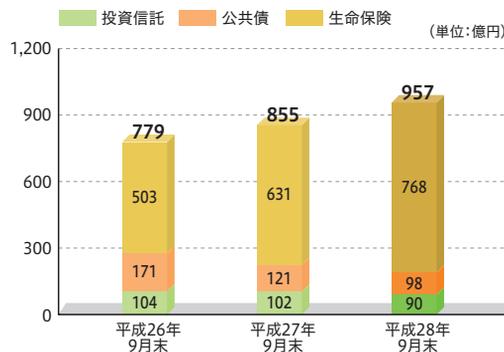
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、公金預金等の減少により、平成27年9月末比406億45百万円減少の1兆418億1百万円となりました。



預かり資産の状況

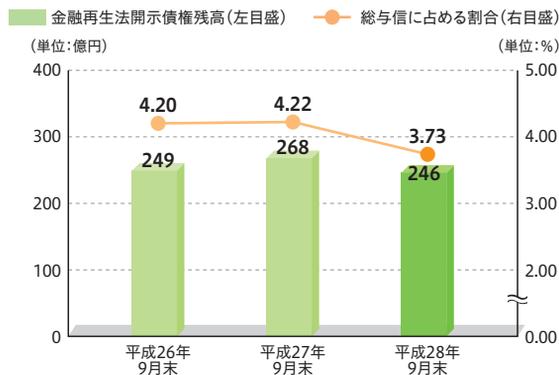
預かり資産残高は、お客さまの資金運用ニーズへの対応により、生命保険残高が増加したことなどから、平成27年9月末比102億31百万円増加の957億51百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成27年9月末比22億39百万円減少の246億42百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成27年9月末比0.49ポイント低下の3.73%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 中間純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様へ

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日。
基準日	定時株主総会については、3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告といたします。 【公告掲載ホームページアドレス】 http://www.jimoto-hd.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞、仙台市において発行する河北新報および山形市において発行する山形新聞に掲載して行います。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	みずほ証券 本店、全国各支店 ブラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でも取り扱いいたします。	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

お問合せ先

みずほ信託銀行 株式会社

 0120-288-324

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成29年の確定申告の添付資料としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成29年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式会社 じもとホールディングス

〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-722-0011(代表)
<http://www.jimoto-hd.co.jp/>

「創立5周年記念 株主優待の実施」

じもとホールディングス創立5周年を記念いたしまして、平成29年9月30日現在、1,000株以上の株式を、1年以上継続して保有している株主様を対象に、クオカード、地元宮城・山形の名産品のほか、全国の特産品等の商品を贈呈する、株主優待を実施する予定です。

株式会社 きらやか銀行

〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号
TEL.023-631-0001(代表)
<http://www.kirayaka.co.jp/>

株式会社 仙台銀行

〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-225-8241(代表)
<http://www.sendaibank.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

平成28年11月発行